

新支部長登場



日本鉄リサイクル工業会・関東

谷平 竜幸氏

仕事に役立つ活動を

る、まだ馴染みがない」と吐露。「しかしそれが時代の流れならば、われわれの業界もぜひトライすべきだと思う。個人的にも興味はある」と新しい取り組みにも意欲的だ。

関東鉄スクラップ業界では、品質劣化問題、ダスト処理の問題、人材不足、まだ馴染みがない」と吐露。「しかしそれが時代の流れならば、われわれの業界もぜひトライすべきだと思う。個人的にも興味はある」と新しい取り組みにも意欲的だ。

千葉部会長から関東支部長に就いて、業界へのまなぎしや考え方が変わったかを問うと「根本的には変わりない」と答え、次のように続けた。「私一人の力では何もできない。これは仕事でも同じ。会員各氏の協力や、多くの意見で作り上げていくのがこの工業会だと認識している」。

(松井 健人)

5月に日本鉄リサイクル工業会の第14代関東支部長に就任。「関東支部の会員同士のつながりをより強め、日々の仕事に役立つ工業会活動をする」。

2012年5月からは同支部の千葉部会長を8年務めてきた。「各部会の会長や役員同士の交流は多かったが、会員同士の交流はまだ十分でない」と

感じていた。関東支部の全会員が相互に情報交換でき、その後の仕事にもつながる縁を取り持てるような場をどんどん作りたい」と抱負を語る。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特に都市部では人間同士の物理的接触が難しい状況が続く。氏は対面での人との結び付きを長年大事にしてきたため、ビデオ通話などを使用した非接触型コミュニケーションには「正直なところ、まだ馴染みがない」と吐露。「しかしそれが時代の流れならば、われわれの業界もぜひトライすべきだと思う。個人的にも興味はある」と新しい取り組みにも意欲的だ。

▽谷平竜幸(たにひら・たつゆき)氏1992年5月谷平商店(現タニヒラ)入社。98年専務取締役。03年タニヒラ社長。趣味はゴルフ。スコアを聞くと「90台かな」と苦笑い。70年1月16日生まれ、東京都出身。

締結、材料と装置のセ
ト販売を子える本制

3000円値上げす
る。マーケット動向次
第では追加値上げも想
定する。

感染拡大の影響で、鉄
スクラップや副資材の
調達が困難になってお
り、価格高騰が顕著に
なっていることを理由
とし、再生産可能な価
格水準とすることで、
高品質な製品の生産・
供給を実現する。

